

教育研究審議会議事録

第9回公立大学法人宮城大学教育研究審議会（平成21年12月定例会）	
開催日時	平成21年12月25日（金）10時30分～12時45分
開催場所	大和キャンパス本部棟4階 応接会議室
出席者	馬渡、白石、保理、武田、金子、大和田、池戸、桑名、大泉、鈴木、徳永（恵）、山田、三石、西川、吉田、真覚、蒔苗、梶、本藏、（21名中19名出席）
欠席者	加藤、坂本
委員以外の出席者	
事務局	小林、中村、新妻、眞山、佐々木
議事概要	<p>1 教育研究審議会議事録について</p> <p>（1）第8回審議会議事録の確認について 原案どおり全会一致で承認された。 また、第8回審議会で承認された第7回審議会議事録の出席者等に誤りがあったため、次のとおり修正することを諮り承認された。 [修正事項] ・出席者の徳永（幸）を削除し、欠席者に大泉を、委員以外の出席者に徳永（幸）（大泉委員代理）を加える。</p> <p>（2）第9回審議会議事録署名人の指名について 議事録署名人に金子委員を指名した。</p> <p>2 審議事項</p> <p>（1）ロイヤル・メルボルン工科大学との交流協定について 資料1 12月14日にロイヤル・メルボルン工科大学との間で、学生の交換留学の実施や教員その他の研究者間の協力及び交換事業の奨励などを定めた一般協定の調印が行われ、資料のとおり正式に交流協定が締結されたことについて三石委員より報告があり承認された。</p> <p>（2）学部長・研究科長選挙実施要領について 資料2 「公立大学法人宮城大学学部長選考規程」及び「公立大学法人宮城大学大学院研究科長選考規程」に基づき行う学部長と研究科長の選挙に係る不在者投票、教授会における投開票や管理の方法などを定めた「学部長選挙実施要領」及び「研究科長選挙実施要領」について理事長より説明があった。本要領の制定に関し全会一致で承認された。</p> <p>（3）最優秀教育者賞実施要領（案）について 資料3 教育方法の改善と向上のために、「教え方」だけに焦点を当てた表彰制度を設けること、又、その実施に当たっての表彰対象となる授業の範囲、表彰者の人数や選定手続き等を規定した「最優秀教育者賞実施要領」を定めることについて理事長より説明があった。 委員より対象授業をwebに掲げる際は、学内のみとすることが望ましいこと、6月末までに候補者を選定するには期間が短いこと、対象授業の範囲などについて意見があり、学務入試委員会で実施方法の詳細を検討した上で、再度審議することとされた。</p> <p>3 報告事項</p> <p>（1）理事長・学長報告</p> <p>①第13回・第14回理事会について 報告資料1</p>

教育研究審議会議事録

1 1月25日に第13回理事会（定例会）が開催され、コピー費に係る予算の効率化と縮減を図るため、コピー機等の使用要領を定め22年4月から実施することが承認されたこと、認定看護師スクールについて、県の事業としての実施期間終了後、法人として独自に事業を継続するか否かについて2月末までに結論を出すために検討委員会を設置すること、職員の業務効率の向上等に資するために事務職員評価を平成23年4月から実施する「職員人事評価実施要綱」の制定が承認されたこと、11月27日に第14回理事会（臨時）が開催され、県の一般職の職員の給与改定の取り扱いに準じ、賃金規程等が改正されたことが報告された。

②第2回公立大学法人宮城大学評価委員会について

報告資料2

12月17日に公立大学法人宮城大学評価委員会が開催され、各年度評価、中期目標期間5年目の暫定評価、6年目の次期中期計画作成作業、期間終了後の中期目標期間評価など業務実績評価の流れや評価の方法及び評価スケジュールなどの業務実績評価の考え方についての審議と、県の審議機関の役員報酬の改定に準じ、宮城大学の役員報酬支給基準の引き下げ改定について審議が行われ原案どおり承認されたことが報告された。

③ロイヤル・メルボルン工科大学とのコンファランス“Sustainability of Food Production”(「持続的食糧生産」)について

報告資料3

三石委員より、12月14日にロイヤル・メルボルン工科大学で「持続的食糧生産」と題して行われたシンポジウムについて、当日の次第に基づき交流協定の調印、学長及び三石委員によるスピーチ、両大学教員によるディスカッション等が行われたことの報告があった。理事長より教員の研究力向上のために有意義であり、他学部等においても同様の機会を設けることについての提案があった。

④評価委員会について

報告資料4

12月9日に開催した教員評価に係る評価委員会について、次年度教員評価の実施要綱についての検討をしたこと、実施の詳細については教員評価専門委員会を設置し検討すること、次年度評価スケジュールにおいて専門委員の負担軽減のため評価シートの回収を早めること、1月6日に第1回専門委員会を開催すること等、池戸委員より報告があった。

⑤平成21年度第2次補正予算について

報告資料5

大和田理事より、第2次補正予算について報告があり、現在、各部門責任者に補正の考え方を示し予算増減調書の提出を依頼していること、調書の提出を1月6日までとし1月の理事会に補正予算を付議する予定であること、当初予算編成時に予期しない支出増及び間接経費の見込比不足分の補完が主なものになるが、現在の収支状況から、優先順位をつけ対応しなければならないことについて報告があった。

⑥平成22年度予算要求について

報告資料6

11月25日の理事会で決定した平成22年度法人予算編成方針に基づき、予算管理責任者に1月15日までに予算調書の提出を依頼していること、その後、経営審議会及び理事会に付議し決定していくことについて、大和田理事から報告された。また、1月下旬から2月上旬にヒアリングを予定していることが併せて報告された。

(2) 教授会審議状況報告

①事業構想学部（大泉学部長）

報告資料7

12月9日に第5回教授会を開催し、特任教員の任用、平成22年度非常勤教員人件費、ディズニー国際インターンシップの既修得単位認定、紀要投稿規程の改正

教育研究審議会議事録

等について審議されたことが報告された。

また、非常勤教員人件費に係る審議の際に、非常勤の採用に関する事、入試科目に関する事、教員の定数に関する事の質問があったことが報告され、質疑がなされた。

②事業構想学研究科（金子研究科長）

報告資料8

12月9日に第5回教授会を開催し、院生の所属領域変更について、今年度の修士論文審査を2月8・9日としたこと、学位論文審査委員会を設置したこと、研究計画発表会の日程について確認したことなどについて審議したことが報告された。

(3) 学内委員会等報告について

①評価委員会

※理事長・学長報告の④で報告したためなし

②学務入試委員会（武田委員長）

報告資料9

事務教務システムの更新に伴いシラバスの記載項目等を見直し、併せて記載要領、記載例を作成したこと、シラバスについて、次年度から事業構想学部、事業構想学研究科及び食産業学部がこれまでの冊子からWebでの提供とすること、平成22年度センター試験の実施体制及び準備等について検討したこと、FDの出席率をより正確に把握するため、出席率の算定方法を統一し、以前の資料を改めたことについて報告された。

③学生生活委員会（徳永学生部長）

報告資料10

12月16日に学生生活委員会を開催し、平成21年度卒業証書・学位記授与式を3月19日とし、平成22年度入学式を4月5日とすること、平成22年度学生便覧について新たに学習奨励プログラムを加えること、アドバンス健康セミナーとして禁煙と子宮頸がん予防のセミナーを実施したことなどが報告された。また、併せて12月2日現在の各学部等の内定状況についても報告があった。

委員から経済的困窮等による休学の状況等の把握と該当する学生へのケアが必要との意見があった。

④研究委員会（金子委員長）

11月25日に研究委員会を開催し、21年度の研究監査について11月12日に29件の監査を実施したこと、特別監査の対象を各学部から選定し12月中に実施すること、中期目標年度計画の研究費の配分について検討したことなどが報告された。

⑤共通教育運営委員会（蒔苗副委員長）

報告資料11

12月16日に共通教育運営委員会を開催し、共通教育センター所属教員の年度末退職に伴う人事計画書について確認したこと、共通教育センター所属教員に係る昇任人事のために基準の策定が必要とされたこと、次年度の時間割案について確認するとともに、履修機会の拡大のために「音楽」の時間を増やすこと及び「情報処理」、「基礎統計学」の少人数クラスの時間割については再検討することとされたことが報告された。

⑥総合情報センター運営委員会（山田委員長）

報告資料12

12月16日に総合情報センター運営委員会を開催し、看護学部が30万円、事業構想学部が96万円、食産業学部が156万円の予算で今年度3回目の学部図書を選定を予定していること、委員からの提案で運営委員会の資料をWebにアップし教職員がダウンロードできるようにしたことなどが報告された。

⑦国際センター運営委員会（三石委員長）

報告資料13

11月25日に国際センター運営委員会を開催し、現在の共同研究をベースとしてカリフォルニア大学デービス校と交流協定について検討していること、海外

教育研究審議会議事録

語学研修のスケジュールが一部変更となったことなどについて協議検討されたことが報告された。また、12月19日に実施した第3回英語プレゼンテーションコンテストに学内15名の学生が出席し、語学の先生方の準備によりレベルの高いコンテストとなったことなどが報告された。

⑧地域連携センター運営委員会（西川委員長）

報告資料14

本日地域連携センター運営委員会を開催し、宮城県の地域高度情報化セミナーについて事業構想学部の藤原先生が講師を務めることから後援を認めたこと、2月5日に行われる気仙沼市との覚書調印式においてプレゼンテーションを行うこと、今年度公開講座における看護学部の実績を踏まえ次年度公開講座やシンポジウムを少し多めに実施することなどについて審議されたことが報告された。

この議事録は、公立大学法人宮城大学第9回教育研究審議会議事録である。

平成22年1月20日

公立大学法人宮城大学教育研究審議会 議長 馬 渡 尚 憲

議事録署名人 金 子 孝 一